

中尾 友彰 先生（昭和音楽大学准教授）

音楽の未来を創る！プロデューサーの挑戦

～学問としての、実務としてのアート・マネジメント

◎日時：令和7年5月9日（金）13:45～

◎会場：新潟中央高校 音楽ホール

作り手と受け手をつなぎ

人々に感動を届ける仕事

アート・マネジメントとは

人々にアートで感動を届ける仕事

皆さんの人生をカラフルに

彩ることのできる素敵な仕事



中尾 友彰 先生

1999年より「長岡リリックホール」、2001年より「りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館」において、コンサートの企画制作を行う。主な公演は「りゅーとぴあ1コイン・コンサート」「5台ピアノの世界」等。また、年80回に及ぶアウトリーチ事業も手がけた。「1コイン・コンサート」については全国各地のアートマネジメント研修会で講師を務め、当企画は全国へと波及。さらに邦人若手演奏家の公演回数が全国規模で飛躍的に増加したことに寄与した。



生徒の感想

- ・クラシックコンサートに興味のない人でも、工夫することで劇場に足を運んでもらえて、リピーターになってもらえる方法が興味深かった。
- ・アートマネジメントにも様々な仕事内容があることに驚いた。そういう苦勞があって、素晴らしい音楽が私たちの下に届けられているのだと思った。
- ・世界に通用するためには、この世界でもやはり英語が重要。
- ・色々なお客さまを呼ぶために、今までにない斬新なアイデアを実現する決断力がすごい。
- ・私も音楽の素晴らしさを多くの人に届けたいと思った。
- ・私も人を感動させられるような仕事に就いて、一人でも多くの人々の心を動かしたいと思った。
- ・今までは演奏する側のことしか考えたことがなかったけど、プロデュースする側が知れて、とても素敵な仕事だと思った。考えるだけでなく、実行する力がとても大切だとわかった。

